

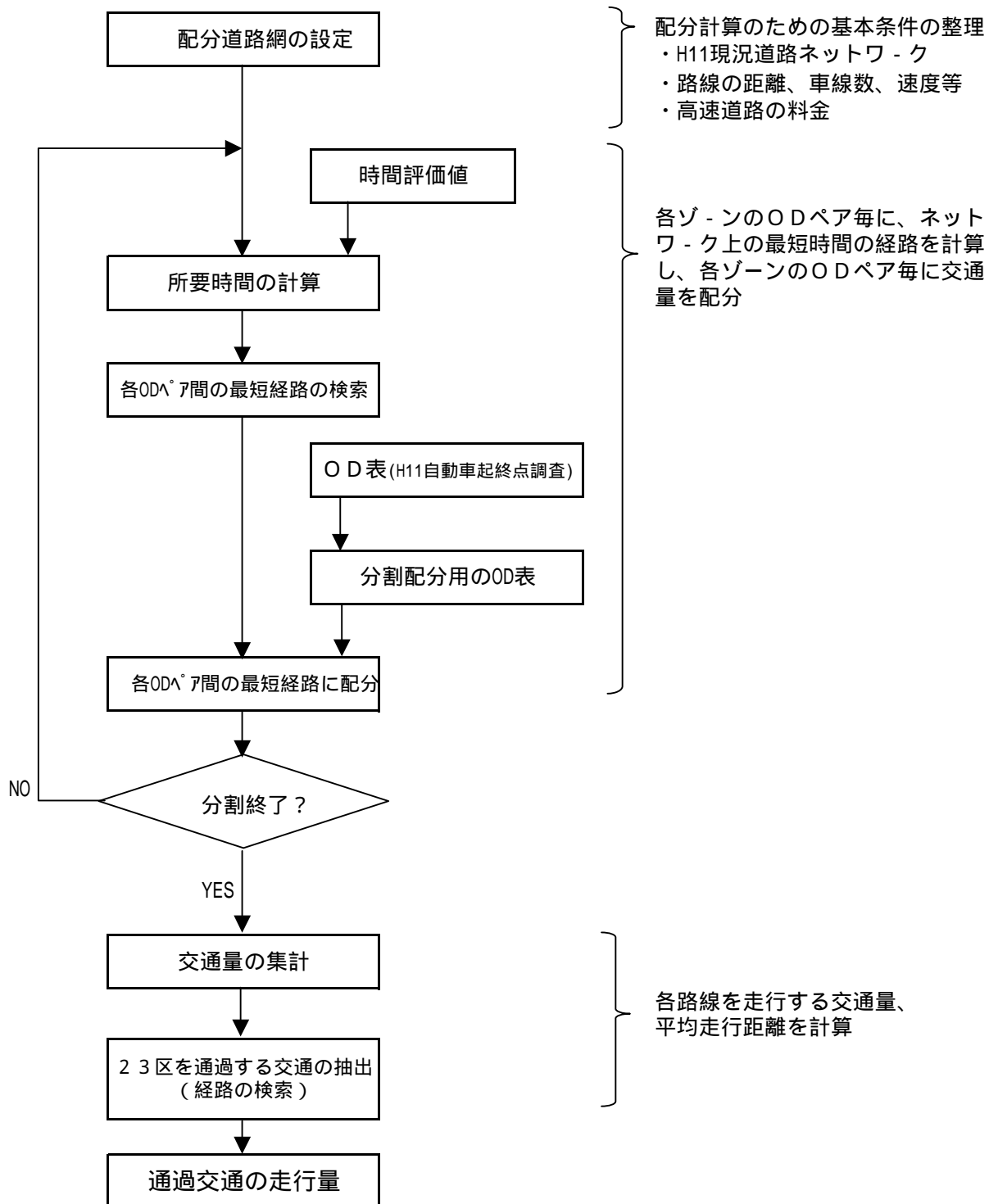
江崎協議員の要望について

1. 通過交通の計算プロセス

(1) 通過交通の計算方法

- ・東京23区の通過交通の計算は、各道路の走行量を推計し、23区の区部内々、区部と他の地域を行き来する交通、区部を通過する交通に区分して集計を行います。
- ・走行量の計算は、道路交通センサス（現況OD）結果を基に、OD交通量を5分割し、そのOD交通量が最短時間経路となる道路へ配分する分割配分手法を用いて行います。

(2) 走行量の計算プロセス



2. 「ナンバープレート調査」の調査方法

外環道(東名高速～関越道間)周辺地域における交通の流動を把握するため、範囲としては南北方向は目白通りから国道246号間、東西方向は環状7号線から環状8号線間の主な路線を対象にナンバープレート調査を実施した。

ナンバープレート調査は、対象交差点付近の交差点流入断面において、各方向別に流動する車両のナンバープレートを読み取り、各地点でのナンバープレートを照合(マッチング)させることにより把握を行った。(対象交差点は図-1を参照)

調査方法は、調査員が調査地点を通過する車両のナンバープレートを目視により読み取り(デプレコーダーを用いて読み取り項目を録音する方法)による方法で実施した。

読み取り項目は、「車籍」、「車種」、「プレート番号(下段4桁)」の3項目とした。

(参考)

調査日 平成12年11月28日(火)7時～11月29日(水)7時(24時間)

図 調査範囲



他事例 ナンバープレート調査の様子

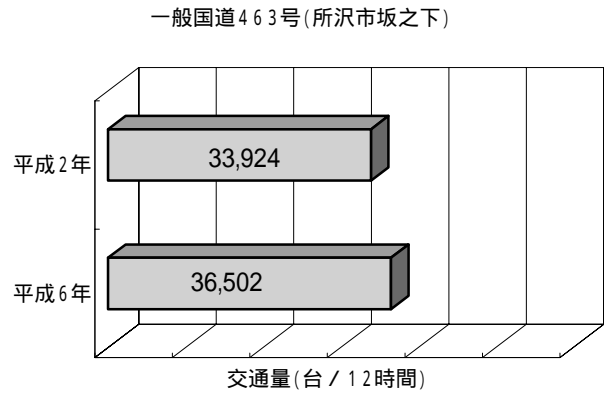
3. 外環(埼玉区間)の開通による周辺道路の交通の変化

外環埼玉県区間の供用年月日

和光インターチェンジ～常磐道 平成4年11月 延長:26.7km

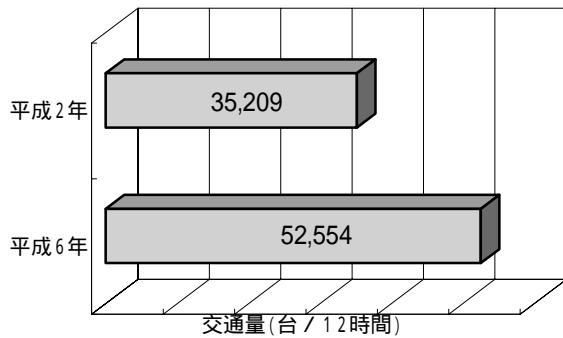
関越道～和光インターチェンジ 平成6年 3月 延長: 2.9km

(1) 一般国道463号(所沢市坂之下)

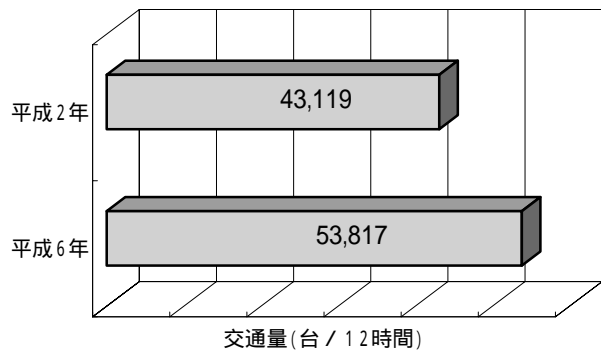


資料：道路交通センサス

関越道(都県境～新座市間)



関越道(所沢IC～川越IC)



資料：道路交通センサス

(2) 浦和草加線(草加市花栗)

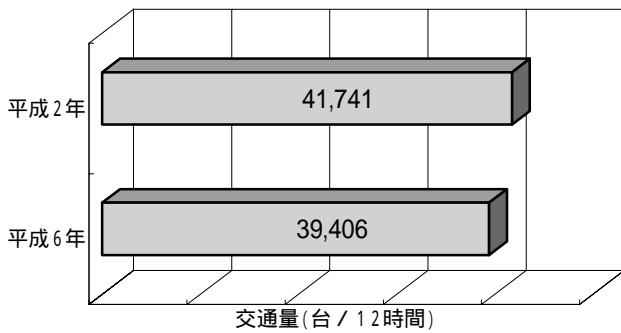


資料：道路交通センサス

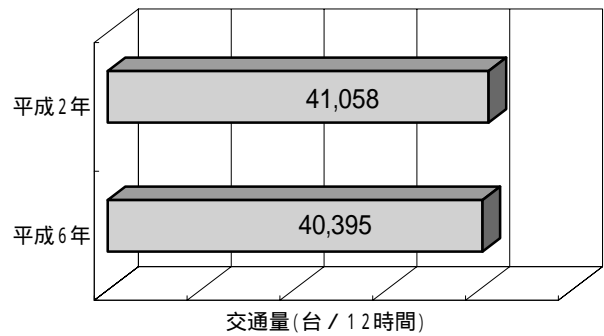
(3)環状7号線



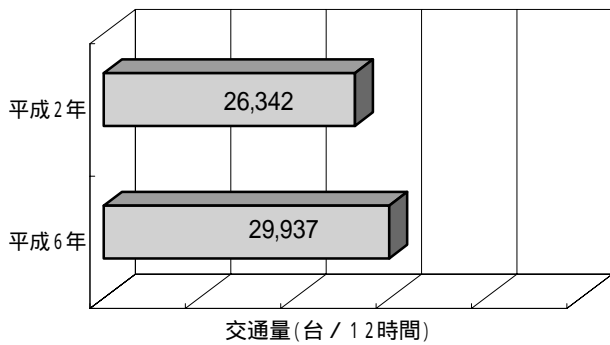
環7 (練馬区羽沢)



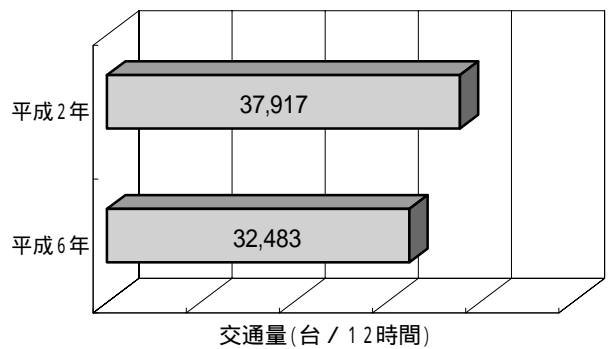
環7 (北区上十条)



環7 (足立区椿)



環7 (足立区梅島)



資料：道路交通センサス